

# 学校改善プランに基づく生徒指導推進校支援事業の取り組み

本年度、高知市内6校（城北中・城東中・潮江中・三里中・南海中・介良中）が高知県教育委員会の指定を受け、各校で、組織的な生徒指導体制の構築に向けた取り組みを進めてきました。今回は、この事業の概要と各校の取り組みの一例をご紹介します。

## 平成25年度 学校改善プランに基づく生徒指導推進校支援事業とは（事業の概要）

生徒指導推進校において不登校やいじめ等の生徒指導上の諸問題を改善するため、学校改善プランに生徒指導の視点を位置付け、組織的な生徒指導を推進する。

推進校に生徒指導推進員を配置し、生徒の自己指導能力を育成するため、生徒指導の3機能（自己決定の場を与える・自己存在感を与える・共感的人間関係を育成する）を教育活動に位置付けた取り組みを推進する。

## 予防的な取り組み

中学1年生時の不登校生徒発生ゼロをめざす

### ■ 入学前の手立て

中学校入学前に小学校1年生からの学力を含めた情報を収集整理し、支援計画を立て、全教職員で共通理解を図った。

### ■ 4月の人間関係づくり

入学後3日以内に学年全体で半日を使っての人間関係づくりを実施した。

特別活動の年間教育計画に人間関係づくりを位置付け、計画的に実施した。



### ■ 学級経営の充実

- 校内での教員研修
- 教員向けの「生徒指導資料」の作成

### ■ 日常の手立て

- 教員による毎日の声かけ
- つまづきを想定しての学習の動機付け
- プリント学習による自信の獲得

### ■ アセスメントツールの活用

- 時期をとらえ、計画的に実施した。（学期に1回あったかアンケートを実施）
- 結果をもとに生徒面談を実施した。
- あったかアンケートの結果を生徒に返して、学級のことについて話し合いをした。



## 成果

- ☆ 中学1年生での新たな不登校の発生がゼロの学校があった。
- ☆ 生徒理解が深まり、早期対応できた。
- ☆ 生徒の悩みや課題に寄り添う支援ができ、生徒と教師の人間関係の構築に役立った。
- ☆ 生徒会による学級風土向上プロジェクトを推進できた。

### 支援的な取り組み



個別対応の充実と丁寧なかかわりにより、学校復帰をめざす



- 家庭訪問
  - 保・幼・小・中が連絡を取り合うことで、情報共有が行われ、互いに連携した家庭訪問ができた。

- 別室対応
  - 個々の生徒に対する柔軟な対応を行った。

- 関係機関との連携
  - 個々の生徒の状態に応じて、その都度、関係機関に情報提供したり、協力を求めたりした。

### 成果

- ☆ 生徒と教員と保護者の間につながりができ、登校につながった。
- ☆ 個々の生徒への状況に応じた丁寧な支援で、学校内に居場所ができた。
- ☆ 学校と関係機関のつながりを強化することができ、支援の幅がひろがった。

### 支援委員会の効果的な運営



早期対応・早期解決をめざした校内支援体制づくり

- チーム支援の充実
  - 学年会与支援委員会がうまく連動するように資料や時間設定を工夫した。
  - 毎週の支援委員会に関係機関も参加した。
  - 支援委員会のなかであったかアンケートなどを活用した話し合いができた。

### 成果



- ☆ 支援委員会を中心とした組織的な不登校支援の取り組みができるようになった。
- ☆ 生徒の課題をチームで支援することによって解決できるケースが増えた。

### 26年度、この事業は・・・

今年度の取り組みのうえに  
**授業において、生徒指導の3機能の視点**

- ・ 自己決定の場を与える
- ・ 自己存在感を与える
- ・ 共感的人間関係を育成する

を位置付け、開発的・予防的な生徒指導を推進し、生徒の自己指導能力の育成を図ることが加わります。

